

# 第1号議案 2025年度事業報告書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

法人の名称 NPO法人 JECK

## 1. 事業活動概要

強化された組織基盤を活かしつつ、組織の更なる活性化と発展を図るため、以下の方針のもとに事業を推進した。

- (1) JECK および社会の環境変化に対応したビジョンとミッションに沿った事業を展開すると共に、横浜市の組織基盤強化支援により会員の増加を受け、さらに事業の推進と組織の進展を図った。
- (2) JECK の国際理解教育関連事業は世界に羽ばたく人材育成に貢献し、内外の評価が高い事業であることを念頭に、継続性の確保と更なる発展性を図ると共に、JECK キャリア支援事業、国際理解セミナーを実施した。
- (3) キャリア支援事業として、立命館大学スタディツアーのノウハウを活かし、大学院生や学生の就活支援を基に、以下のスタディツアーを実施した。なお、JICA 基金活用事業の応募案件として JECK によるスタディツアーを国内とタイ国内において企画したが、採択に至らなかった。
  - (A) 立命館大学大学院生（留学生）を対象としたスタディツアー
  - (B) 立命館大学学生を対象としたスタディツアー
  - (C) 立命館大学はもとより横浜国大、慶応大、東工大、関東学院大、明治学院大などの学生を対象としたスタディツアー
- (4) JICA や自治体案件および独自の海外事業案件(エクアドル等)の獲得に向けて 積極的に挑戦した。
  - (A) 大田区地域力応援基金助成（ステップアップ助成）案件に応募した。
  - (B) 横浜市「ヨコハマ・エコ・スクール（YES）」の助成金獲得
- (5) JICA や他団体（KIP、YNN、とつか区民活動センター、ほどがや、青葉など国際交流ラウンジ、大学サークルプロジェクト等）とともに、地域の人々が気軽に参加できる、多文化共生を育むイベントに参加すると共に、サロン事業を実施した。
- (6) JECK 会報 44 号及び 45 号を発行し、会員及び外部関係機関の関係者に配布した。なお、紙媒体による会報発行は 45 号をもって終了し、今後はウェブベースに移行する。
- (7) JECK では、ユーザーの個人情報や機密情報を安全に保護できる Web サイトにするために、URL を「<https://www.jeck.jp>」に変更した。
- (8) 活動内容の迅速なアップデートを目指して Web サイトの内容、表示を見直すとともに、Facebook のアカウントを作成し、広報の強化を進めた。

## 2 事業内容

- (1) 国際理解教育関連事業
  - ① 明治学院大学教育事業

- ・内 容 国際理解教育（正課授業「国際協力の現場」）
- ・日 時 2025年9月～2026年1月
- ・場 所 明治学院大学国際学部
- ・従事者人員 14人
- ・受益対象者 学生 50人

② 立命館大学教育事業

- ・内 容 国際理解教育
- ・日 時 2025年5月～2026年1月
- ・場 所 立命館大学
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 学生 約50人

③ 授業研究会（明治学院大学の連携講座）

- ・内 容 学生による授業評価を受けて授業の改善に取り組む。
- ・日 時 連携事業の開始前、および、全て終了後
- ・場 所 Zoomによるリモート開催
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 会員、学生

(2) キャリア支援事業

① 立命館大学大学院 横浜・川崎・大田区スタディツアー2025

- ・内 容 JDS 大学院留学生 10名を対象とした3日間に渡るスタディツアー、訪問した企業施設は8カ所である。さらに、オンラインによる事前及び事後講義を実施した。
- ・日 時 9月1日～9月3日
- ・従事者人員 JECK 会員 10名、国土交通省関東整備局職員 3名
- ・受益対象者 大学院留学生 10名

② 立命館大学 日本企業研究 横浜・川崎・大田区スタディツアー

- ・内 容  
日本企業研究（黒川清登教授担当）の履修学生 10名を対象とした3日間に渡るスタディツアー、訪問した企業施設は8カ所である。さらに、オンラインによる事前及び事後講義を実施した。
- ・日 時 9月8日～9月10日
- ・従事者人員 JECK 会員 8名
- ・受益対象者 日本企業研究履修者、横浜国大、関東学院大学などの学生 10名

- (3) 国際協力・多文化共生・地域活性化等をテーマとするイベント事業
- ① 「ゆる体操体験会」
    - ・日 時 5月21、29日 他 計7回
    - ・場 所 保土ヶ谷地域ケアプラザ
    - ・従事者人員 3人
    - ・受益対象者 会員、市民等21人
  
  - ② 大田区 安久工機・ヤスラボ交流会に参加
    - ・日 時 5月25日
    - ・従事者人員 3人
    - ・受益対象者 多数
  
  - ③ JICA 東京 NGO 等提案型プログラム研修参加（NPOの活性化・外部資金獲得の研修）
    - ・日時 8月2日～ 計6回参加
  
  - ④ 保土ヶ谷宿場まつり参加（防災にかかるアンケート調査実施）
    - ・日 時 10月12・13日
  
  - ⑤ 公益法人かながわ生き生き市民基金 助成団体報告会・贈呈式参加
    - ・日 時 12月2日（火）
  
  - ⑥ JECK クリスマス会 at 保土ヶ谷地域ケアプラザ+夕食会
    - ・日時 12月25日
    - ・場所 保土ヶ谷駅前の交流カフェ 「Kikacafe」 保土ヶ谷駅前の交流カフェ 「Kikacafe」
  
  - ⑦ SDGs CITY フォーラム（SDGs 多文化 CITY フォーラムより名称変更）
    - ・日時 2月14日 11時～11時50分
    - ・場所 JICA 横浜
  
  - ⑧ ボランティア就活支援チーム 「就活相談会」（neco.sun との連携事業）
    - ・日時 2月15日 15時～16時30分
    - ・場所 八洲学園大学（横浜市西区）
  
  - ⑨ 羽田イノベーションシティ Study Tour
    - ・日時 2月16日
    - ・場所 羽田イノベーションシティ内 METALISM

⑩ 地域イベント in 保土ヶ谷「今後の KIKCAFE ファミリーとの取り組み」

- ・日時 2月22日
- ・場所 保土ヶ谷地域ケアプラザ

⑪ 超専門技術ミニ展示会「すっきり展」に参加

- ・日時 3月12日
- ・場所 大田区「羽田イノベーションシティ」 ZONE K 2階

⑫ JECK 出前講座

- ・日時 3月19日
- ・横浜市立 横浜サイエンスフロンティア高等学校

法人名：NPO 法人 JECK

第2号議案 活動計算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：円)

科目	前年度予算	実績 (12ヶ月間)			備考
	金額	金額	小計	合計	
<b>I 経常収益</b>					
<b>1. 受取会費</b>	<b>122,000</b>		<b>89,000</b>		
正会員受取会費	120,000	87,000			3千円 X29人
賛助会員受取会費	2,000	2,000			1千円×2人
<b>2. 受取寄附金</b>	<b>0</b>		<b>6,400</b>		
受取寄附金	10,000	6,400			大平会員より会報45号印刷及び送付代
<b>3. 受取助成金等</b>	<b>400,000</b>		<b>153,652</b>		
大田区ステップアップ助成金	400,000	0			1次審査通過、不採択
横浜市 YES 補助金		3,652			2024年度第3回国際理解セミナー
かながわ生き生き市民基金助成金		150,000			大地震家屋倒壊リスクに対する防災・減災啓蒙(次年度実施)
<b>4. 事業収益</b>	<b>2,250,000</b>		<b>958,250</b>		
明治学院大学授業	300,000	300,000			未収金(2026年4月15日入金見込)
JICA 基金(応募)	1,000,000	0			落選
JDS 留学生ステイプツアー	800,000	629,750			9月実施
立命館・横国大ステイプツアー	100,000	18,000			
多文化共生事業(セミナー・サロン活動)	50,000	10,500			ゆるゆる体操 述べ21名 x 500円
<b>5. その他収益</b>	<b>50,000</b>		<b>0</b>		
雑収益	50,000	0			エ
<b>経常収益計</b>	<b>2,772,000</b>			<b>1,207,302</b>	
<b>II 経常費用</b>					
<b>1. 事業費</b>	<b>889,000</b>		<b>461,100</b>		
<b>(1) 人件費</b>					
役員報酬	0	0			
給料手当	0	0			
法定福利費	0	0			
<b>(2) その他経費</b>					
講師料	169,000	156,000			明治学院大学 13,000円×12人
諸謝金	0	0			
旅費交通費	300,000	199,520			JDS 留学生宿泊費

					176,000 円含む
賃借料	0	0			
諸会費	20,000	0			
車両借上費	200,000	96,000			JDS ステディアツアー-マイクロバス借上
広報活動費	100,000	0			
通信運搬費	0	0			
消耗品費	0	0			
印刷製本費	20,000	9,580			ステディアツアー-講義見学資料
雑費	80,000	0			
租税公課	0	0			
支払手数料	0	0			
<b>2. 管理費</b>	<b>650,000</b>		<b>222,689</b>		
<b>(1) 人件費</b>					
役員報酬	0	0			
給料手当	0	0			
法定福利費	0	0			
<b>(2) その他経費</b>					
講師料	80,000	0			NPO 活動基盤づくり
諸謝金	100,000	2,000			会報 44 号原稿料
旅費交通費	100,000	96,632			
賃借料	20,000	0			
諸会費	20,000	20,000			KIP, SDGs よこはま
車両借上費	0	0			
広報活動費	100,000	89,462			会報印刷、HP 管理
通信運搬費	100,000	1,120			
消耗品費	100,000	0			
印刷製本費	0	0			
雑費	20,000	0			
租税公課	0	0			
支払手数料	10,000	2,975			ゆうちょ銀行振込手数料
<b>経常費用計</b>	<b>1,539,000</b>			<b>683,789</b>	
<b>III 経常外収益</b>					
過年度損益修正益		9,000			2024 年度会費(3 人)
受取利息		2,067			ゆうちょ銀行利息
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>			<b>11,067</b>	
<b>IV 経常外費用</b>					
利子所得税		315			

經常外費用計	0			315	
当期正味財産増減額	1,233,000			534,265	
前期繰越正味財産額	1,303,493			1,303,493	
次期繰越正味財産額	2,536,493			1,837,758	次年度繰越

法人名：NPO 法人 JECK

貸借対照表  
2026年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	1,546,758		
未収金	300,000		
流動資産合計		1,846,758	
2.固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,846,758
II 負債の部			
1.流動負債			
仮受金	3,000		
前受会費	6,000		
流動負債合計		9,000	
2.固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			9,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,303,493	
当期正味財産増減額		516,265	
正味財産合計			1,837,758
負債及び正味財産合計			1,846,758

法人名：NPO 法人 JECK

財産目録  
2026年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
手許現金	18,000		
ゆうちょ銀行(旧)	0		
三井住友銀行(旧)	0		
ゆうちょ銀行(新)	1,528,758		
未収金	300,000		
流動資産合計		1,846,758	
2.固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,846,758
II 負債の部			
1.流動負債			
仮受金	3,000		
前受会費	6,000		
流動負債合計		9,000	
2.固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			9,000
正味財産			1,837,758

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日 2017 年 12 月 12 日最終改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りですなお、明治学院大学授業（後期授業）の収益は 2026 年 4 月 15 日に入金見込みであり、2026 年 3 月 31 日時点では未収金扱いとなっています。

(単位：円)

科 目	明治学院大学 事業	JDS 留学生 スタディツアー	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>					
1.受取会費			0	89,000	89,000
2.受取寄付金			0	6,400	6,400
3.受取助成金等			0	153,652	153,652
4.事業収益	300,000	629,750	929,750	0	929,750
5.その他収益			0	28,500	28,500
<b>経常収益計</b>	<b>300,000</b>	<b>629,750</b>	<b>929,750</b>	<b>277,552</b>	<b>1,207,302</b>
<b>II 経常費用</b>					
<b>(1) 人件費</b>					
役員報酬					0
給料手当					0
法定福利費					0
<b>人件費計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>(2) その他経費</b>					
講師料	156,000	0	156,000	0	156,000
諸謝金			0	12,500	12,500
旅費交通費	23,520	176,000	199,520	96,632	296,152
賃借料	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	20,000	20,000
車両借上費	0	96,000	96,000	0	96,000
広報活動費			0	89,462	89,462
通信運搬費			0	1,120	1,120
消耗品費			0	0	0
印刷製本費	0	9,580	9,580	0	9,580
雑費	0	0	0	0	0
租税公課			0	0	0
支払手数料			0	2,975	2,975
<b>その他経費計</b>	<b>179,520</b>	<b>281,580</b>	<b>461,100</b>	<b>212,189</b>	<b>683,789</b>

経常費用計	179,520	281,580	461,100	212,189	683,789
当期経常増減額	120,480	348,170	468,650	36,863	523,513

### 3. 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。横浜市 YES 補助金は 2024 年度の活動に関する補助金です。公益財団かながわ生き生き市民基金助成金に基づく活動は 2026 年度に実施予定です。

(単位：円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
公的補助金 (横浜市 YES 補助金)	0	3,652	3,652	0	2024 年度第 3 回国際理解セミナーに対する補助金。昨年度に実施済。
民間助成金 (公益財団かながわ生き 生き市民基金助成金)	0	150,000	0	150,000	大地震による家屋倒壊リスクに特化した防災・減殺の啓蒙を次年度実施予定。
合 計	0	300,000	300,000	0	

## 第3号議案 2026年度事業計画書

(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

法人の名称 NPO法人 JECK

### 1. 事業活動方針

強化された組織基盤を活かしつつ、組織の更なる活性化と発展を図るため、以下の方針のもとに事業を推進する。

- (1) ビジョンとミッションに沿った事業を展開すると共に、横浜市の組織基盤強化支援による会員の増加を受け、今後さらに事業の推進と組織の進展を図る。
- (2) JECKの国際理解教育関連事業が世界に羽ばたく人材育成に貢献し、かつ内外の評価が高い事業であることを念頭に、継続性の確保と更なる発展を図る。
- (3) 東京都大田区の中小企業振興、特に人材獲得、国際展開支援のために、同区内の関連団体（NPO法人オールオオタ、NPO法人Osekkai、Ebinax株式会社、ヤスラボ（安久工機）、大田区産業振興協会（羽田イノベーションシティ、PiOパーク）等）と協働を展開する。
- (4) 大学・高等学校との連携を強化し、学校教育では提供し得ない実務経験をベースとした「実務教育」「キャリア形成」などのセミナー開催、出前講座の実施などで展開する。
- (5) 就活の早期化と留学生の就職希望者の増加を受け、企業と学生のマッチングに資する、就活サポートを実施する。
- (6) JICAや他団体（とつか区民活動センター、保土ヶ谷、青葉など国際交流ラウンジ、大学サークルプロジェクト等）とともに、地域の人々が気軽に参加し、多文化共生を育むことができるイベントやサロン事業を実施していく。
- (7) JICA案件(中小企業・SDGsビジネス支援事業)および独自の海外事業案件(エクアドル等)の獲得に向けて積極的に挑戦する。
- (8) 会員を対象としたフォーラム、イベントなどの事業により、参加者枠の発展的拡大を図り、国際理解、多文化共生をさらに推進する。
- (9) JECKホームページをさらに拡充させ、市民、学生、中小企業者にとって役立つコンテンツを増加させる。また、SNSも拡充し、YouTube動画などで、啓蒙活動をさらに展開する。

### 2 事業内容

- (1) 国際理解教育関連事業（大学、高校などを対象）

- ① 関東学院大学経済学部教育事業

- ・内 容 国際理解教育、黒川副理事長が開発経済学I,IIの非常勤講師となる。
- ・日 時 2026年4月から2027年1月まで
- ・場 所 金沢八景キャンパス
- ・従事者人員 3-4人（ゲストスピーカーとして参加）
- ・受益対象者 学生 50-100名

② 明治学院大学教育事業

- ・内 容 国際理解教育（正課：国際学特講1（国際協力の現場））
- ・日 時 2026年9月～2027年1月
- ・場 所 明治学院大学国際学部（戸塚キャンパス）
- ・従事者人員 14人
- ・受益対象者 学生 約150人

③ 立命館大学教育事業

- ・内 容 国際理解教育（正課の演習科目で展開）
- ・日 時 2026年5月～2027年1月
- ・場 所 立命館大学（主としてZoomで実施）
- ・従事者人員 3～4人（ゲストスピーカーとして参加）
- ・受益対象者 学生 約50人

④ 国際理解セミナー事業（出前講座なども含む）

- ・内 容：JECK 会員による「世界の国々の課題」「キャリア形成」をテーマとして
- ・日 時： 未定（概ね毎月1～2回実施予定）
- ・場 所： 神奈川県内、東京都大田区、茨城県つくば市を中心に展開
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 高校生、大学生、県民、市民

⑤ SDGs 多文化 CITY フォーラム

- ・内 容 国際理解教育
- ・日 時 例年2月～3月に実施
- ・場 所 例年 JICA 横浜
- ・従事者人員 数名
- ・受益対象者 学生も含め、県民、市民多数

(3) 学生と企業のマッチング（スタディツアー、インターンシップ等も含む）

① 横浜国立大学の留学生・日本人学生を対象としたツアー

- ・内 容 京浜地区にある企業や施設研修
- ・日 時 2026年9月上旬、2027年2月など適宜
- ・場 所 京浜地区にある企業や施設
- ・従事者人員 延べ10人
- ・受益対象者 留学生、日本人学生 10～15人

② 関東学院大学、明治学院大学などの学生を対象としたツアー

- ・内 容 京浜地区にある企業や施設研修
- ・日 時 2026年9月、2027年2, 3月など
- ・場 所 京浜地区にある企業や施設
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 各回日本人学生 10-15人

③筑波大学の留学生・日本人学生を対象とした講義・ツアー

- ・内 容 筑波大学の正課「多文化共修による課題解決実習」(集中講義)  
つくば市周辺にある企業や施設研修
- ・日 時 2026年7月ころ
- ・場 所 筑波大学、つくば市周辺
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 留学生、日本人学生 30人程度とつくば市周辺の中小企業等

④立命館大学大学院留学生(JDS)を対象としたツアー

- ・内 容 京浜地区にある企業や施設研修
- ・日 時 2026年9月上旬
- ・場 所 京浜地区にある企業や施設
- ・従事者人員 延べ10人
- ・受益対象者 立命館大学留学生 24人、日本人学生及び会員

⑤立命館大学日本人学生を対象としたツアー実施

- ・内 容 正課授業「日本企業研究」の一環として京浜地区にある企業や施設研修
- ・日 時 2026年7月 下旬
- ・場 所 京浜地区にある企業や施設
- ・従事者人員 延べ10人
- ・受益対象者 学生 10~20人及び会員

(4) 環境・防災にかかる啓蒙活動の展開

① 市民・大学生などを対象とした環境・防災にかかる啓蒙セミナー

- ・内 容 公益財団法人 かながわ生き生き市民基金 : 第24期:生活クラブ福祉たすけあい助成(通常型)」(2025-2026)に採択された防災啓蒙活動(地震防災)
- ・日 時 2026年 3-4回
- ・従事者人員 延べ6人/週
- ・受益対象者 会員及び地域の人たち、学生、高校生、自治会関係者など

②市民・大学生などを対象とした環境・防災にかかる啓蒙セミナー

- ・内 容 ヨコハマ・エコ・スクール(YES)の協働団体として、エコライフスタイ

ルなど環境に関連する講座やイベント等を展開する。

- ・日 時 2026年 3-4回
- ・従事者人員 延べ6人/週
- ・受益対象者 会員及び地域の人たち、学生、高校生

#### (5) JICA 国際協力に基づく事業

##### ① 中小企業・SDGs ビジネス支援事業案件準備調査（中長期的課題）

- ・内 容 海外産業振興に資する JICA 案件獲得のための準備調査
- ・日 時 2026年4月1日～2027年3月31日
- ・場 所 横浜市中心区新港2-3-1 JICA 横浜センター
- ・従事者人員 5～10人
- ・受益対象者 JICA 国際協力対象国および中小企業（海外進出の意欲ある中小企業）

##### ② エクアドル関連事業(中長期的課題)

- ・内 容 対エクアドル JICA 案件形成を念頭に置いた開発事業の準備
- ・日 時 2026年4月1日～2027年3月31日
- ・場 所 横浜市中心区新港2-3-1 JICA 横浜センター
- ・従事者人員 3～6人
- ・受益対象者 エクアドル国

#### (6) JECK イベント及び活動

##### ①高齡化社会を見据えた活動

- ・内 容 高齡者の健康を守る軽い「運動教室」の展開
- ・日 時 2026年6月より毎月1-2回
- ・場 所 保土ヶ谷区
- ・従事者人員 3-6人/週
- ・受益対象者 会員及び地域の高齡者

##### ② サロンを利用した多文化交流（料理教室）

- ・内容「エスニック料理」を作りながら、人々の暮らしを知る等
- ・日 時 2026年6月より週2～3日
- ・従事者人員 延べ6人/週
- ・受益対象者 会員及び地域の人たち
- ・連携団体：NPO 法人アジアビジネス共創ネットワーク（小林一理事長は JECK 会員）

③ とつか区民活動センターにおける JECK 事業活動紹介

- ・内 容 とつか区民活動センターにおける JECK 事業活動紹介
- ・日 時 2025年10月 ～ 2026年3月
- ・場 所 とつか区民活動センター
- ・従事者人員 2～3人/月
- ・受益対象者 市民、会員他

④ 外部資金獲得・大学等の正課での新規講義への挑戦

(適宜チャンスを捉えて JECK の特性を展開する)

1)大田区ステップアップ事業

- ・内 容  
「中小企業の学生マッチングを促す、研修・インターンシップ等による人材確保と国際化」
- ・日 時 2026年3月申請済み
- ・従事者人員 延べ20人
- ・受益対象者 大田区内の中小企業、高校生、大学生、留学生

2)JICA 基金活用事業

- ・内 容 JECK 会員の国際経験を活かした国内研修事業等を検討
- ・日 時 2026年5月～2027年3月
- ・従事者人員 延べ20人
- ・受益対象者 開発途上国の市民、行政関係者、日本国内の受け入れ機関関係者

法人名：NPO 法人 JECK

第 4 号議案 2026 年度活動予算書  
(2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで)  
法人名：NPO 法人 JECK

(単位：円)

科目	2025 年度	予 算 金 額			備考
	実績	予算	小計	合計	
<b>I 経常収益</b>					
<b>1.受取会費</b>	<b>89,000</b>		<b>122,000</b>		
正会員受取会費	87,000	120,000			3,000 円×40 人
賛助会員受取会費	2,000	2,000			1,000 円×2 人
<b>2.受取寄附金</b>	<b>6,400</b>	0	<b>0</b>		
受取寄附金	6,400	0	0		
<b>3.受取助成金等</b>	<b>153,652</b>		<b>580,000</b>		
かながわ生き生き市民基金助成金	150,000	150,000			大地震家屋倒壊リスクに対する防災・減災啓蒙
横浜市 YES 補助金	3,652	30,000			SDGs 関連セミナー
大田区ステップアップ助成(応募中)		400,000			採択の場合 8 月から支出
<b>4.事業収益</b>	<b>958,250</b>		<b>2,250,000</b>		
明治学院大学授業	300,000	300,000			授業委託料
JICA 基金(応募)	0	1,000,000			採択された場合、2026 年 11 月から 2027 年 10 月まで
JDS 留学生ステディツアー(英語)	629,750	800,000			委託料
立命館大学等ステディツアー(日本語)	18,000	90,000			参加費 9 月と 2 月に予定
多文化共生事業 (国際理解セミナー、カン活用事業)	10,500	50,000			エクトル料理教室の参加費等
<b>5.その他収益</b>	<b>0</b>	0			
受取利息	0	0			
雑収益	0	0			
<b>経常収益計</b>	<b>1,207,302</b>			<b>2,772,000</b>	
<b>II 経常費用</b>					

<b>1 事業費</b>	<b>500,594</b>		<b>1,389,000</b>		
<b>(1)人件費</b>					
役員報酬	0	0			
給料手当	0	0			
法定福利費	0	0			
<b>(2)その他経費</b>					
講師料	156,000	169,000			明治学院大学 講師料
諸謝金	0	300,000			大田区補助の 支出含む
旅費交通費	237,814	400,000			大田区補助,か ながわ生き活 き基金対応の 支出も含む
賃借料	0				
諸会費	1,200	20,000			
車両借上費	96,000	200,000			JDS ステア イア-
広報活動費	0	100,000			
通信運搬費	0	0			
消耗品費	0	0			
印刷製本費	9,580	20,000			JDS ステア イア-
雑費	0	0			
租税公課	0	0			
支払手数料	0	0			
<b>2 管理費</b>	<b>391,069</b>		<b>650,000</b>		
<b>(1)人件費</b>	<b>0</b>		<b>0</b>		
役員報酬	0	0			
給料手当	0	0			
法定福利費	0	0			
<b>(2)その他経費</b>					
講師料	66,822	80,000			中小企業調査 等
諸謝金	2,000	100,000			講演時の謝金
旅費交通費	96,632	100,000			会議等参加
賃借料	0	20,000			会場費
諸会費	20,000	20,000			KIP 他
車両借上費	0	0			
広報活動費	89,462	100,000			会報印刷/HP
通信運搬費	1,120	100,000			Zoom 等
消耗品費	92,717	100,000			

印刷製本費	0	0			
雑費	19,341	20,000			食材
租税公課	0	0			印紙など
支払手数料	2,975	10,000			送金手数料
<b>経常費用計</b>	<b>891,663</b>			<b>2,039,000</b>	
<b>Ⅲ経常外収益</b>					
過年度損益修正益	9,000				2024年度会費(3人)
受取利息	2,067				ゆうちょ銀行利息
<b>経常外収益計</b>	<b>11,067</b>			<b>0</b>	
<b>Ⅳ経常外費用</b>					
利子所得税	315				
<b>経常外費用計</b>	<b>315</b>			<b>0</b>	
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>534,265</b>			<b>733,000</b>	
<b>前期繰越正味財産額</b>	<b>1,303,493</b>			<b>1,837,493</b>	
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>1,837,758</b>			<b>2,570,758</b>	次年度繰越

第5号議案 2026年度 役員改選

2026.4.25

**【理事】**

氏名	留任	新任	辞任	備考
杉田 伸樹	○			理事長
内田 勝巳	○			副理事長、会計補佐
黒川 清登	○			副理事長、広報担当
渋谷 憲一	○			事務局長、会計担当
大平 一昭			○	
林 薫		○		
フレディ・アルミホス	○			
小林 一	○			
中泉 拓也	○			

**【監事】**

氏名	留任	新任	辞任	備考
木村 直子	○			

**【相談役】**

氏名	留任	新任	辞任	備考
林 薫			○	
小泉由紀子	○			サロン活用担当

第 6 号議案      2026 年度 JECK 定款の定足数の改定

2026.4.25

発議：JECK の総会の定足数は、定款に以下の記載がある。その定足数を二分の一から、三分の一に変更する。

現行の定款

(定足数)

第 25 条 総会は、正会員総数の 2 分の 1 以上 の出席がなければ開会することができない。

改正案

第 25 条 総会は、正会員総数の 3 分の 1 以上 の出席がなければ開会することができない。

改定の主旨：

この改正は、JECK も設立から 20 年以上が経過し、年会費は納入するも、総会に参加できない、メールによる連絡に返答が遅いなどの高齢の会員が増えたことから、総会の成立の要件を緩和するものである。

これにより、会員相互の情報交換機能が低下は懸念されるが、近年は、JECK のホームページを順次改定し、活動の内容がより分かりやすくなる工夫が取られている。SNS についても、昨年より Facebook も活用し、写真の発信も増加させている。これらの広報活動の強化により、会員相互の情報交換は密接になっており、総会成立要件を三分の一に緩和しても、支障がないと判断した。